

子どもたちに楽しい思い出を

～助け合って困難を乗り越える～

長吉小

令和2年度
の本校のPTA
A活動は、昨年度までと
違う新型コロナウイルス
という未知の感染症との
闘いの中、まず私たち実

行委員会が、『子どもた
ちに楽しい思い出を』と
いうコンセプトで始動し
ました。しかし学校行事
はもちろん、PTA活動
にも制限がかかり、思う
ような活動ができないま
ま日だけが過ぎました。

実行委員会の会議では
子どもたちに何かしてや
れないかと議論し、毎年
行っている「親子社会見
学」の実施と「スマイル
ングフェスティバル」の
開催を決めました。全て
の行事を中止にすること
は簡単で安全な策とは分
かっていましたが、委員

の皆さんも子どもたちの
思い出作りに前向きに行
動していただきました。

まず「親子社会見学」
は、大阪市立クラフトパ
ークで陶芸体験をさせて
もらいました。例年は観
光バスを使っていた社会見
学を実施していましたが、
近頃の施設を利用して各
自が自転車や徒歩で参加
することで、少しでも接
触を減らすようにしまし
た。施設内ではアルコー
ル消毒を徹底し、皆さん
に楽しく陶芸体験をして
いただけました。後日に、
完成したお皿やお椀を手

にした子どもたちの笑顔
を見た時には、開催して
良かったと感じました。

もう一つのイベント「ス
マイルングフェスティバ
ル」は、これまでは全学
年が一斉参加の開催でし
たが、今年度は午前（低
学年）・午後（高学年）
と2部構成で実施しまし
た。ブースでの出し物に
ついて検討したり、どの
ように感染症対策を講じ
るかを話し合ったりして
きました。入場前の体温
の確認と手指のアルコー
ル消毒、スマートボール
・射的・ストラックアウ

トなど各ブースでの消毒
を徹底しました。参加し
てくれた子どもたちや付
き添いで来ていただいた
保護者の方からも、マス
ク越しではありましたが
楽しそうな顔が見られ、
開催して本当に良かった
と思いました。

このようなPTA活動
ができるのも、保護者や
教職員の方々の協力があ
つてのことだと思ってい
ます。これからの活動も
皆さんと助け合いながら
困難な状況を乗り越えて
いきたいと考えています。

（会長 森典幸）



スマートボールを楽しむ子どもたち



受付に並んだ大勢の子どもたち